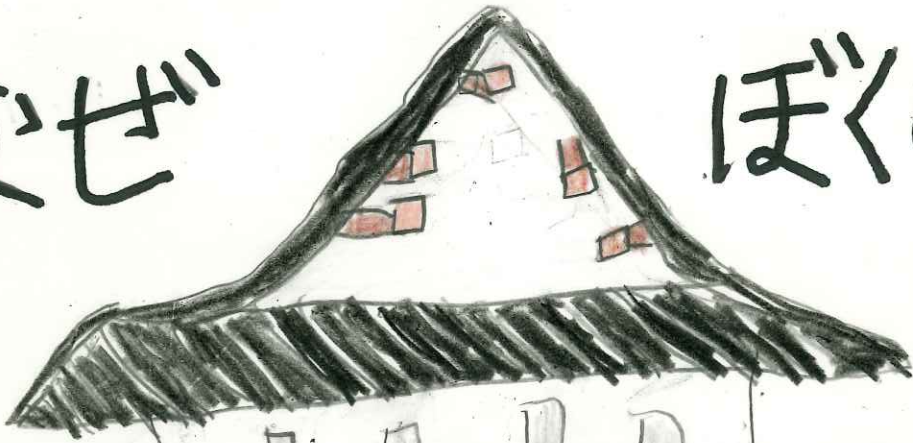
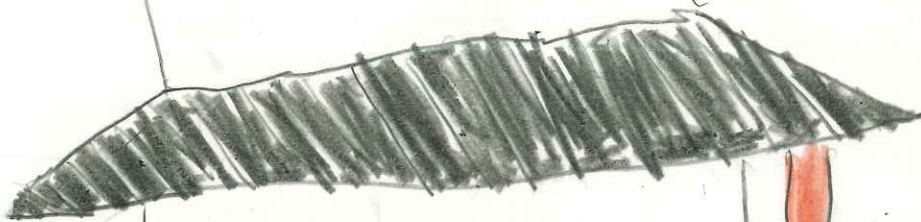


なぜ

ぼくの家



屋根の形と



にているの？



太田市立

旭小学校

3年

和田 和士

1、研究のきっかけ

ぼくは、1年生の時馬のはにわの研究をしました。古墳の形がわからなくても、馬のはにわがかざられていることが分かり、馬はきちょうで大切にされていました。

2年生の時、おじぎをしている男のはにわを調べました。ひだまつすがたは、古墳時代のあいさつだと分かりました。

つがまわり古墳群羊第4号古墳のはにわがかざられたすばらしき君羊馬のはにわを見に行きました。ぼくはびっくりしました。それは、つがまわりのはにわではなく、白い vari 山古墳の家のはにわです。新しくたてるぼくの家の形にすごく似ていたからです。



↑ 新しくたてるぼくの家 ↗
白い vari 山古墳 家形はにわ



とくに、屋根の形がそっくりに見えました。そこでぼくは家のはにわの屋根の形がなせぼくの家の屋根の形とにているのか調べることにしました。

2、研究の方法

- ①家の屋根の形を調べる。
- ②家形はにわを調べる。
- ③家形はにわを見に行く。

3、研究の内容

- ①家の屋根の形を調べる



×母屋造 (いりもやづくり)

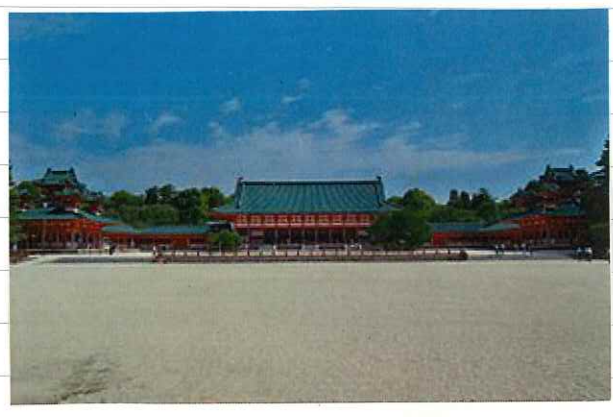
ぼくの家の屋根は、×母屋という形だと分かりました。上に七つま造、下によせむね造となっています。

やよい時代のいせきにも見られているそうです。

日本では、切妻とよせむねの糸目み合わせである
入母屋造は、もともと格式が高い形式ということです。
法興寺や平安神宮に見られます。

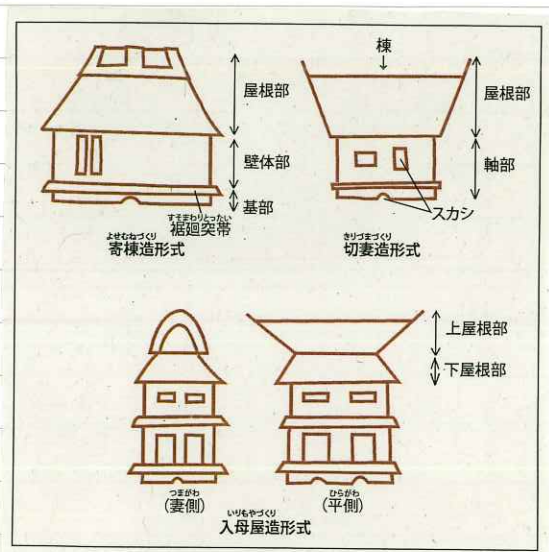


法興寺



平安神宮

家形はにわの屋根の形は
3つのタイプに分かれています。



家形垣輪 屋根の形のタイプ
(青柳 1995 掲載図を基に作成)

よせむね造形式、切妻造形式、
入母屋造形式です。

白瓦いなり山古墳家形はにわは、
よせむね造ということが分かりました。

ぼくの家の屋根・・・入母屋造

白瓦いなり山古墳
家形はにわ・・・よせむね造

② 家形はにわを言周べる

4世系己の前半から前方後円墳のちゆう上には、死者のたましいがやどる家を表した家形はにわが置かれていました。

家形はにわには、埋そう者の生前か死後の屋しきを表す住居・倉庫・納屋などがあります。

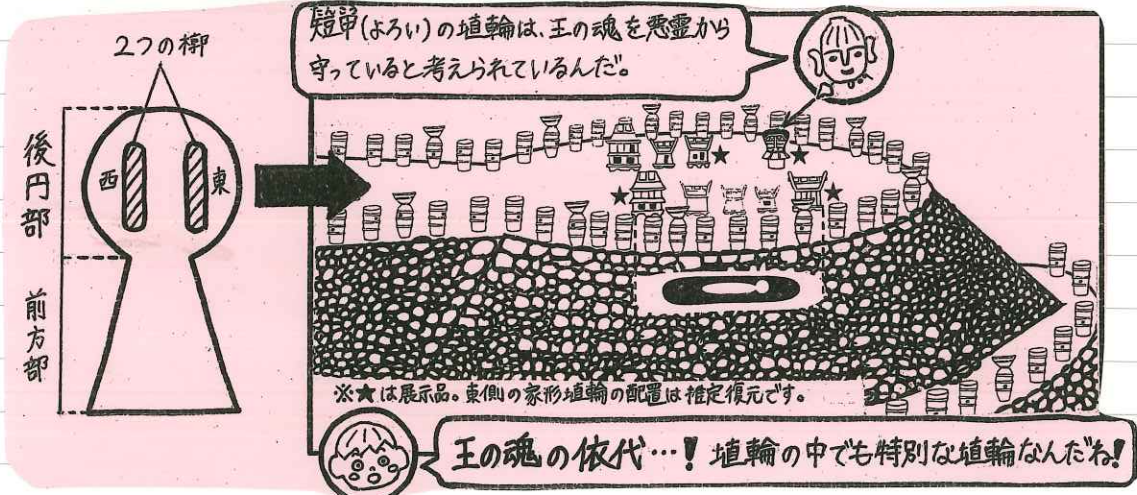
白石いなり山古墳の家形はにわは、王の木宮がおさめられる前方後円墳の後円部から出土しました。このように、家形はにわは、はにわの中でも埋そうせつに近い中心てきな位置に置かれます。



家形埴輪 寄棟造高床倉庫 高さ 52.7cm
藤岡市白石稲荷山古墳
(東京国立博物館蔵)
Image : TNM Image Archives

よせむねづくりにかゆか 《寄棟造 高床倉庫》

東側礫層の上で見つかっており、高床の建物を表現しています。屋根は寄棟造で、切妻造家と同じく内部に床を持たず、平側に一か所長方形の入口を有し、表面には赤色顔料が塗られています。近年では、倉庫ではなく被葬者の靈の依代となるような重要な建物を表したとする見解もあり、再び注目されています。



家のはにわは王のたましいがすむと考えられています。

きりづまづくり
《切妻造 家》

東側礫礮の上で見つかっています。屋根の形式は切妻造で、内部に床は作られていません。平側に入口と窓が各1箇所作られています。妻・平両側に粘土帯で柱、梁が表現されています。表面には赤色の塗彩が確認できます。



家形埴輪 切妻造家 高さ 64.2cm
藤岡市白石稻荷山古墳
(東京国立博物館蔵)
Image : TNM Image Archives

そのほかにも、白石のいな山古墳では、切づま造の家形はにわか出土しています。

切づま造では、屋根にひれぼうがざりや斗木がある家形はにも、前橋市から出土していることが分かりました。



家形埴輪 高さ 52.8cm
前橋市舞台1号古墳
【国指定重要文化財】(文化庁蔵)

入母屋造の家形はにもは、6世紀後半に作られた平井地区1号古墳やわたぬきが人音山古墳から出土していることが分かりました。

とても大きい屋根がとくちょうです。

わたぬきが人音山古墳



平井地区

1号古墳



入母屋造の家形はにを言周べると、6世紀のものがまあり
 古墳群第4号古墳のものが東国でもっとも古いものだと
 分かりました。

組合式入母屋造家形埴輪一覧表

No.	遺跡名	所在地	埴形・規模	備考	文献
1	今城塚古墳	大阪府高槻市郡家新町	前方後円墳 190m		1
2	長原3号墳	大阪府平野区			2
3	石見遺跡	奈良県磯城郡三宅町石見			3
4	大谷山22号墳	和歌山県和歌山市岩橋	前方後円墳 67m		4
5		群馬県伊勢崎豊城町大字八寸字権現山	前方後円墳	赤堀71.72	5
6		群馬県多野郡吉井町大字本郷		赤堀107	5
7		群馬県藤岡市白石字下郷		赤堀106	5
8	塚廻り4号墳	群馬県太田市大字竜舞字塚廻り	帆立貝式 22.5m		6
9		群馬県伊勢崎市豊城町大字八寸字権現山		赤堀75	5
10		群馬県伊勢崎市豊城町大字八寸字権現山		赤堀74	5
11		群馬県伊勢崎市豊城町大字八寸字権現山		赤堀80	5
12		群馬県伊勢崎市豊城町大字八寸		赤堀77	5
13		群馬県伊勢崎市豊城町大字八寸		赤堀79	5
14		群馬県佐波郡境町大字上武士		赤堀92	5
15	二ツ山古墳	群馬県新田郡新田町大字成塚	前方後円墳 74m	赤堀96	5
16		群馬県伊勢崎市波志江町		赤堀94	5
17		群馬県勢多郡大胡町			7
18		群馬県勢多郡大胡町			7
19		群馬県邑楽郡大泉町			7
20	本郷埴輪窯跡	群馬県藤岡市本郷			8
21	駒形神社埴輪窯	群馬県太田市		太田市保管	
22		群馬県佐波郡		相川考古館	
23	茶臼山古墳	栃木県壬生町羽生田	前方後円墳 86m		9.10
24	明神山3号墳	栃木県足利市朝倉町	円墳 14m		11
25	瀬戸ヶ谷古墳	神奈川県横浜市保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町			20
26	経僧塚古墳	千葉県成東町野堀	円墳 45m	4点出土	12
27	塚本山15号墳	埼玉県児玉郡美里村	円墳 20m		13
28	御手長山古墳	埼玉県本庄市小島	円墳 42m		14
29	三ヶ尻林4号墳	埼玉県熊谷市三ヶ尻	円墳 26m		15
30		埼玉県大里郡川本町出土		赤堀54	7.20
31		埼玉県大里郡岡部町出土		赤堀55	7.16
32		埼玉県大里郡江南付出土			17

文献
 原口正三他
 『高槻市
 史』第一卷
 本編 I
 1977.2
 野上丈助
 『特別展図
 録 大阪府
 の埴輪』
 1982
 未永雅雄
 「磯城郡三
 宅村石見出
 土埴輪報
 告」『奈良
 縣史蹟名勝
 天然記念物
 調査報告』
 第13輯
 1935.2

備考覧には後藤守一 1933 『上野国佐波郡赤堀村今井茶臼山古墳』 の家形埴輪番号を表示。

未永雅雄

③ 家形はにろを見に行く

ぼくは、つかまおり古墳群第4号古墳の家形はにろが1番古い入母屋造だと知り、見に行きました。家形はにろは、墳丘部にありました。白石いなり山古墳とにしている場所



にあり、まおりは、大刀はにろがおかれていました。また、たて形はにろが近くにありました。

つかまおり古墳群第4号古墳では、墳丘部の北がろに入母屋造の家形はにろが置いておりました。

国指定重要文化財「上野塚廻り古墳群出土土埴輪」(模造)

この塚廻り古墳群第4号古墳に並べられている模造土埴輪類は、発掘調査によって明らかにされた埴輪類を忠実に復元製作し、出土状態からその配置を復元したものである。墳丘部には、円筒埴輪、盾形埴輪、家形埴輪、大刀などが配置されていた。造り出し部には、円筒埴輪のほか、人物埴輪や馬形埴輪が配置されていた。西端には四体の女子像が配置され、その東部には椅子に座った男子、跪く男子などの七体の男子像が配置され、その北部には飾り馬と馬子が配置されていた。

このような埴輪の配列から、椅子に座った男子を中心人物として、首長権が継承される儀式を再現したのではないかと推察できる。

各々の埴輪のつくりは表現も豊かで、造形的にも非常に優れており、この四号古墳出土の埴輪類を含め「上野塚廻り古墳群出土埴輪 一括」として、昭和六十年六月に国の重要文化財に指定された。現在、埴輪の現物は群馬県立歴史博物館に保管されている。

平成二十七年三月二十五日

太田市教育委員会

第4号古墳の埴輪配列



入母屋の家形はにわは屋の上に丸い形のかざりが
7つあります。上から見るとろつあながあいています。
上の屋根には、三角の 모양がついています。
まどが1つあいていて、まどのまわりは、ぐるりとかまれて
います。

4、研究の結果

ぼくは、家形はにわの屋根の形を言調べ
ました。それは、ぼくの家屋根の形とにしていた
からです。ぼくの家屋根は、入母屋という形で
にしていた白石いなり山古墳の家形の屋根は、

よせむねという形でした。

4世紀己の前半から死者のたましいがやどる家を表した家形ははにわがおかれていました。家形ははにわははにわの中でも埋そうしせつに近い中心でない位置に置かれます。

ぼくの家の屋根と同じ入母屋造の家形ははにわは、6世紀己に見られ、つかまわり古墳群第4号古墳のものが東国でも、もっとも古いものだと分かりました。見に行くと、上の屋根がとっても大きくて、ぼくの家の屋根の形とは、少しちがうと思いました。でも、古墳時代の家形ははにわの屋根の形が今のぼくの家の屋根の形につながっていると知ることができました。

5.さん考にした本

- ・群馬県立歴史はく物館 すばらしき群馬のはにわ (2020)
- ・右島和夫 わがさ とある HANI一本 群馬県

6.さん考にしたインターネット

- ・ウィキペディア 入母屋造
- ・<http://trc-a-deac.trc.co.jp>